

## 教えて！ナッキー

### 地域がまとめている「地域ビジョン」って？

市内では、行政だけでなく、さまざまな人や団体が地域課題に向き合いながら、多様な公共サービスを生み出し始めているよ。市では、このような、みんなで支え合う社会の仕組みを「新しい公」と呼んでいるんだ。

そうした中、各地域づくり組織では、「地域づくり組織条例」に基づいて、自分たちの住まわちの将来像を「地域ビジョン」としてまとめているよ。住民アンケートや住民の意見交換会などにより、多くの住民の意見を地域ビジョンに反映させながら、今年中に、全地域で「地域ビジョン」がまとまる予定なんだ。

「地域ビジョン」とは、10年、20年先の地域のあり方を、地域の实情に照らし合わせて、地域の皆さん自身が考えて、実行に移していこうというもの。そして、市では、「新しい公」をもっと進めていくためにも、市の各種計画や施策に、各地域の「地域ビジョン」を反映させて、それぞれの地域の思いを応援していこうとしているよ。

今回は、市内の7地域からアピールしたい事項や、魅力的な事業などを市にお寄せいただきましたので、これを皆さんにご紹介します。次回は、3月ごろ、8地域からの情報をお届けする予定です。

問 地域経営室 ☎ 63・7484

# 誕生

## 15の地域づくり組織が つくる 「地域発信！ふるさと便」

市は、地域づくり組織のホームページ立ち上げをお手伝い。そして、広報紙にも地域づくり組織の活動を知る、知らせる、そんな場を設けました！

「タタンの地域って、どんなところなのかな？」

## その声…

地域づくり組織の皆さんからも、こうした声が寄せられていました。

## 「地域の活動をアピールしたい」

市民の皆さんから、こんな疑問が市に寄せられることがあります。

## 「自分たちの地域や他の地域では、どんな活動に取り組んでいるの？」



## 名張地区まちづくり推進協議会

問い合わせ先 ☎ 64-2605 fax64-2751  
(名張公民館内) ✉ nabari-ko@emachi-nabari.jp

### 地域のサロン「よってだ〜こ」

名張地方の方言で、「○○だ〜こ」というのは、「〜ください」の意味。名張地区まちづくり推進協議会では、名張地区内の空き家・空き店舗を利用して、高齢者や地域活動の拠点としてサロンを開設しています。そのサロンの名前も「よってだ〜こ」なんです。

現在は9号店まであり、高齢者の皆さんの会食やおしゃべりの場・趣味の場所として利用しています。各集議所でも、名張地区まちづくり推進協議会主催で、「ちよってよってだ〜こ」と題してまちの保健室と連携し、楽しいひとときを過ごしてもらえるように、巡回活動をしています。



## 今年も開催します！

### 第6回 隠(なばり)街道市

日時 11月12日(土)・13日(日)  
午前9時30分〜午後3時30分  
場所 イオン名張店から榊町、中町、上本町、柳原町、宇流富志禰神社までを中心としたまちなか一帯  
内容 第2回ダンスパフォーマンスまつり  
松阪しよんがい音頭と踊り  
行灯の点灯(12日午後5時〜8時)  
ミニコンサート、その他おもてなし事業



かつての賑わいを取り戻すため、また、名張地区の原風景を残しながら人情あふれるまちにするために、この街道沿いやまちなかを中心とした一帯で「隠(なばり)街道市」を今年も開催します。商店街や企業、ボランティアなどの団体、行政、そして地区の住民、他地区の住民が協働して、空き家・空き店舗などを活用したさまざまなイベントやおもてなし事業を繰り広げます。

名張地区には、藤堂家邸や宇流富志禰神社などの登録有形文化財の歴史文化資源があり、祭りや花火大会といった伝統行事、まちなかを流れる築瀬水路、まちをとりまく名張川などの自然資源にも恵まれています。万葉の時代、名張は畿内に東の端とされ、奈良からみてかくれの里という意味で「隠(なばり)」と表記されており、また江戸から明治初期にわたって最も賑わいをみせた大和と伊勢を結ぶ「初瀬街道」が名張地域を通っていました。かつての賑わいを取り戻すため、また、名張地区の原風景を残しながら人情あふれるまちにするために、この街道沿いやまちなかを中心とした一帯で「隠(なばり)街道市」を今年も開催します。商店街や企業、ボランティアなどの団体、行政、そして地区の住民、他地区の住民が協働して、空き家・空き店舗などを活用したさまざまなイベントやおもてなし事業を繰り広げます。

## 名

張地区には、藤堂家邸や宇流富志禰神社などの登録有形文化財の歴史文化資源があり、祭りや花火大会といった伝統行事、まちなかを流れる築瀬水路、まちをとりまく名張川などの自然資源にも恵まれています。万葉の時代、名張は畿内に東の端とされ、奈良からみてかくれの里という意味で「隠(なばり)」と表記されており、また江戸から明治初期にわたって最も賑わいをみせた大和と伊勢を結ぶ「初瀬街道」が名張地域を通っていました。

各地域づくり組織から提出された原稿を基に編集しています

# 中央ゆめづくり協議会

問い合わせ先

(中央ゆめづくり館内)

☎・fax 64-6755

✉ chuuou-bo@emachi-nabari.jp

## 高齢者学級を開講しました



高齢者学級のモットーは、`趣味を生かして好きな事をして友達を増やし脳や体の洗濯をし、生きている間、欲と楽しみを忘れず人生を楽しく生きる。

現在は、☆語る会 ☆歌う会 ☆将棋 ☆スポーツの会 ☆おりがみ の集いがあります。

## 子育ての悩みを話し合える場を提供 地域子育て支援「きらきらひろば」

<開催日> 毎月第1・3木曜日午前10時~正午

<場所> 名張市防災センター2階 ◎申し込みは不要です。



**子**育て支援「きらきらひろば」は設立して7年になります。主催は中央ゆめづくり協議会と中央ゆめづくり館。協賛していただいているのは地域のボランティア、希央台・鴻之台地域のまちの保健室、保健センター、子ども支援センターかがやきの皆さんです。  
保護者は、子育ての悩みをみんなと話し合うことで相互啓発し、一方、子どもたちは、友達をつくって楽しんでます。幼稚園などへの入園前の子どもたちはひろばを利用することで、とまどいがないという声もあり、対象者には、地域を限定せず、さまざまな地域から参加をいただいています。  
最近では、ベビーサイン講座やクラフトによる遊びなど、毎回趣向を凝らした行事を開催しています。

# 美旗まちづくり協議会

問い合わせ先

(美旗市民センター内)

☎・fax 65-3007

✉ mihata-ko@emachi-nabari.jp



「豊かなまちづくり」を目指して日々活動しています。

美旗まちづくり協議会は、

123人の委員と

28人の理事を中心に

4つのビジョンと9つのプロジェクト

## 4つのビジョンと9つのプロジェクト

### ◆自然と歴史が香る【史跡と文化のまちづくりビジョン】

- 古墳群を含む自然環境の有効利用プロジェクト
- 初瀬街道を生かしたまちづくりプロジェクト
- 歴史文化遺産活用プロジェクト

### ◆だれもが生き生き【安全安心のまちづくりビジョン】

- 安心安全のまちづくりプロジェクト
- 世代間交流プロジェクト

### ◆環境に優しい【資源循環型まちづくりビジョン】

- 資源循環型社会実践プロジェクト

### ◆活力と潤いのある【産業経済活性のまちづくりビジョン】

- 次世代農業活性化プロジェクト
- 農商工連携プロジェクト ○「企業の森」誘致プロジェクト

## 文化と食の美旗

一般参加行事のみをご案内しています。

### ◆お月見コンサート 10月15日(土)午後5時30分~

北中ウインドアンサンブル部、美旗小学校児童をはじめとする地域住民手作りの楽しいコンサートを美旗市民センターで開催します。

### ◆観阿弥祭 11月6日(日)午前10時~

美旗は、観阿弥創座の地です。例年11月の第1日曜日に観阿弥ふるさと公園で観阿弥祭を行っています。かわいい子ども狂言も見所です！

- 同日、語り部の案内で、美旗市民センターから美旗名所を巡りながら観阿弥祭会場へ向かう「観阿弥ウォーク」も開催します(午前9時集合)。
- 会場ではお茶の振る舞いや豚汁販売もあります。

各地域づくり組織から提出された原稿を基に編集しています



# ひなち地域ゆめづくり委員会

問い合わせ先  
(比奈知公民館内)

☎・fax 68-1101  
✉ hinachi-ko@emachi-nabari.jp



## 住民同士が親睦を深める 「ひなち地域の歴史探訪」

ひなち地域ゆめづくり委員会発足から3年後、平成17年に4つの専門部会を立ち上げました。その中で福祉部会は、やるべきことが多く、事業の選定に困難を極めました。初年度の委員たちが、熟考の末、「福祉」以前に、まずは住民同士が知りあう事が先決と、「ひなち地域の歴史探訪」を始めました。



自分たちの地域への理解を深めると同時に、昼食などを共にすることで、お互いの親睦も深まっています。

で、お互いの親睦も深まってきた。当地域は、農村部と住宅団地に分かれ、小学校区も二つにまたがっているため、融和を図るには大変厳しい状況でした。今日では、住民同士の一体感が増し、歴史探訪ハイキングは最良の手段であったと自負しています。また、住宅地の住民にとって、農村の中へ入り、昔からの生活を感じる事で、自分たちにとっては、まだ新しいこの地が古くから住む人々によって支えられてきたという歴史を思い、心から「故郷」と感じていた。だきつけにもなりました。

# 錦生自治協議会

問い合わせ先  
(錦生公民館内)

☎ 63-0252 fax63-3636  
✉ nishikio-ko@emachi-nabari.jp

## 住民の意見を反映した5カ年計画 「錦生ランドデザイン2010」

「豊かで自然と文化に包まれ誰もが生き生きと輝いて暮らすまち」を目指し、昨年度に地域住民の意見を反映した5カ年計画「錦生ランドデザイン2010」を策定しました。

本年度はその初年度として、できる事から実施へと、チーム毎に具体的推進をしています。

- 環境・整備チーム  
宇陀川沿いウォーキング道路の実態調査と整備
- 歴史・文化チーム  
各地区の「獅子神楽」一同競演と年間歳時記の作成
- コミュニティ・ビジネスチーム  
資源ごみの収集と休耕田の有効活用
- 生活・活性化チーム  
区民運動会(9月17日)の実施と無医村地域の解消



## 地域の思いが結集! 「ほっとバス錦」

「錦生」は名張市の西の玄関口にあり、風光明媚で人情味あふれるこの地域で、唯一の交通機関であるバス路線が廃止されるのを知ったのは、ちょうど5年前でした。

地域の交通手段を我々の手で守らねば、という区民の思いを乗せて、平成20年4月コミュニティバス「ほっとバス錦」がスタートしたのです。

戸惑いながらも、市の担当者のアドバイスのもと、立ち上げに奔走した地区役員、買い物や通院に喜びの声を届けてくれる人たち、利用機会は少ないが、チケットを購入してくれる人たち、車内広告で協力してくれた人や地元企業、そして安全運行の運送会社など、多くの思いが結集したものであります。

「にしき路」を颯爽と走るこのバスは、私たちが目指す地域づくりの御旗である「絆」が具現化した姿のひとつであると感じています。



各地域づくり組織から提出された原稿を基に編集しています

## 箕曲地域づくり委員会

問い合わせ先  
(箕曲公民館内)

☎・fax 63-0453

✉ minowa-ko@emachi-nabari.jp

### 箕曲地域の「地域ビジョン」

この地域が私のふるさと 箕曲  
豊かな自然と暮らしにやさしい潤いのある地域  
この財産を未来に引き継ぎたい

「地域ビジョン」は、地域の皆さんにご協力いただいたアンケートの分析や意見などを基に、会議を重ね取りまとめました。生きがいを持って暮らせる明るいまち、人とのふれあい、絆を大切にすまち、暮らしを守る安心安全のまちづくりを基本構想としています。

以前、私たちの地域は、小学校周辺は春になると、列車からも心を和ませるほどの桃の花園となっていました。そこで、ぴいちぴち(桃・新鮮)計画と名付けたここ2・3年で取り組む行動計画では、従前の事業の見直しや、計画する人・準備する人・参加する人も、「やってよかった」「こんな行事、組織があつてよかった」との成果が出る新しい事業企画、また、イベントだけでなく、環境対策や安心安全のまちづくりのための見回りの実施や、地域住民への危機管理意識の向上やルールづくりなど、部会や地域で話し合っています。そして、地域づくりが充実し変わっていくための計画として具体化されつつあります。

住民の皆さんの意識や参加しやすい形を作り、地域づくり委員会は地域の要望に応えながら「ずっと住み続けたい箕曲地域を実現していこう」と一歩ずつですが確実に歩んでいます。



区内には夏見・赤坂・箕曲中村・瀬古口・中知山の5地区がある。昭和のころから始まった区民運動会や、敬老会、公民館祭り(現地区文化祭)、新しくは夏祭りがこれにあたり、住民のニーズに応じて、形や名前が変わりながらも今も綿々と受け継がれています。

地区運動会は、まつり要素があり、多くの区民が参加。老若男女の触れ合いを楽しみながら、多くの区民が参加。互いが顔を合わせることで、住民の触れ合いや絆が生まれることは、今の時代、大切なことではないでしょうか。

### 運動会や敬老会、 地区文化祭、夏祭り… 箕曲地域活動の特色



## 地

区内には夏見・赤坂・箕曲中村・瀬古口・中知山の5地区がある。昭和のころから始まった区民運動会や、敬老会、公民館祭り(現地区文化祭)、新しくは夏祭りがこれにあたり、住民のニーズに応じて、形や名前が変わりながらも今も綿々と受け継がれています。

互いが顔を合わせることで、住民の触れ合いや絆が生まれることは、今の時代、大切なことではないでしょうか。

にしています。敬老会は、数年前から各地区開催となりました。文化祭は、公民館祭りの延長で、地域の小学校の子どもたちと体験学習を通じて、世代間交流を図っています。年に1回のサークル発表の場でもあり、会員の皆さんの意気込みが感じられ、住民の皆さんにも喜んでいただいています。また、新しく取り入れた夏祭りは、樽組みなど準備が大変ですが、地域の住民の皆さんの協力で盛り上がりつつあります。これは、催しごとに行方委員会を開き、多くの意見を尊重しながら、毎年、趣向を変えて特色を打ち出すようにしています。こうした中、お互いが顔を合わせることで、住民の触れ合いや絆が生まれることは、今の時代、大切なことではないでしょうか。

## 桔梗が丘自治連合協議会

問い合わせ先  
(桔梗が丘公民館内)

☎・fax 65-1206

✉ info@kikyogaoka.jp



### 「子ども・未来」を育む、「ほっとまち」桔梗が丘

## 「こころの思い発表会」が地域と子どもの距離を縮めるきっかけに

教育文化部の活動のひとつである「こころの思い発表会」は、桔梗が丘青少年育成協議会の活動を引継ぎ、15年にわたり地域で子どもを守り育てていく青少年の健全育成を図るために取り組んでいます。子どもたちの夢や感動したことなど「こころの思い」の発表を通して、地域住民が「子どもたちを理解する」ことを願う、基本的には、毎年、区内の5つの小中学校から各3人

この活動が、子どもの未来に「明るい希望」を、そして地域住民が子どもとの距離を縮め、「見守る力」の一助となることを願っています。

桔梗が丘自治連合協議会は、24地区の自治会で形成する自治連合会を核とし、3委員会と6事業部会で組織しています。各事業部会では、年間を通じて地域に密着した独自の事業を推進しています。

10年前に「将来の夢」を語った子どもも成人し、「好きなことを思い続け、周りの人に話したり作文にしたりすることで、夢はより一層鮮明になり、実現に近づける」とメッセージをくれました。



15年にわたり続く「こころの思い発表会」。子どもたちの発表を通して、地域住民が子どもたちを理解し、それぞれが距離を縮めるきっかけとなっています。

各地域づくり組織から提出された原稿を基に編集しています